

# インドネシア情報レポート

(2025年1月31日)

(公財) 大阪産業局 インドネシアビジネスサポートデスク

PT. JAC Consulting Indonesia

ジャカルタ市内では最も浸透しているオンライン決済システム「QRIS (キューリス)」をご存知でしょうか。2019年にインドネシア中央銀行が主導し、国内の電子ウォレットや国内外の銀行アプリ等、複数のキャッシュレス決済手段を1つのQRコードで一括処理するのが主な特徴です。QRISの普及は、現金を数える手間が省けることに加え、脱税や過少申告の抑制にも繋がり、税収強化の大きな期待も背負っています。今後のインドネシアでは必需品となり、導入に伴う通信インフラの整備や金融リテラシーの啓発にも注目が高まります。

今月は2024年11月にFortune Indonesia社から発表されたインドネシアの企業ランキング上位(1~10位)についてご紹介します。下記が会社名及び売上高(収益)です。

順位	会社名(業種・国営 or 民間)	売上高(収益)
1	Pertamina (エネルギー・国営)	1,168兆ルピア (約11.2兆円)
2	Perusahaan Listrik Negara (PLN) (電力・国営)	487兆ルピア (約4.7兆円)
3	Astra Internasional (自動車・民間)	316兆ルピア (約3.0兆円)
4	Bank Rakyat Indonesia (BRI) (金融・国営)	241兆ルピア (約2.3兆円)
5	Bank Mandiri (金融・国営)	186兆ルピア (約1.8兆円)
6	Telkom Indonesia (通信・国営)	149兆ルピア (約1.4兆円)
7	Gudang Garam (たばこ・民間)	118兆ルピア (約1.1兆円)
8	Hanjaya Mandala Sampoerna (たばこ・民間)	115兆ルピア (約1.1兆円)
9	Bank Central Asia (BCA) (金融・民間)	112兆ルピア (約1.1兆円)
10	Indofood Sukses Makmur (食品・民間)	111兆ルピア (約1.1兆円)

(注) Rp10,000 ≒ 96円

1位のPertaminaは国営のエネルギー企業で、インドネシア全国のガソリンスタンドの半分以上のシェアを握っており、インドネシア住民の生活の一部となっています。いくつかの日系企業との技術提携なども行っています。2位のPLNはインドネシアの電気インフラを管理する国営企業です。再生可能エネルギーや電気自動車向け充電スタンドなど新たな事業に取り組んでいます。3位のAstraはトヨタ自動車やホンダを筆頭とした自動車関連(生産、販売、小売り等)事業を中心に幅広く事業を手掛けています。

上記のようにインドネシアでは現状、製造業が発展途上にありランキング上位はエネルギー関連或いは銀行が占めている状態です。エネルギー関連や自動車関連の事業進出を目指す場合には上記企業がキーカンパニーになるといえます。